



JAPAN HERITAGE
日本遺産



みちのく
GOLD
浪ろまん漫

黄金の国ジパング、
産金はじめの地をたどる

石巻市博物館 第10回企画展

みちのくの金と金華山

会場 石巻市博物館 企画展示室（宮城県石巻市開成一―八 問合せ0225-98-4831）
観覧料 一般600円／高校生300円／小中学生200円 ※20人以上の場合は2割引

開館時間 午前9時～午後5時（最終入館は午後4時30分まで） 休館日 月曜日（祝日の場合は開館し、翌火曜日は休館）

2025

1.25^土
~3.23^日

東東洋『金華山松嶋圖』（山形美術館蔵）長谷川コレクション 画像提供 山形美術館

共催 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会（宮城県涌谷町・南三陸町・気仙沼市・石巻市・岩手県平泉町・陸前高田市）
後援 tbc東北放送、NHKテレビ、NHKラジオ、NHK山形放送局、河北新報社、三陸河北新報社（石巻かほく）、
石巻日日新聞社、ラジオ石巻FM76.4、一般社団法人石巻観光協会、一般社団法人石巻圏観光推進機構



石巻市博物館
ISHINOMAKI
CITY MUSEUM





日本遺産「みちのくGOLD浪漫」主な構成文化財

石巻の視点からひもとく、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」

日本遺産「みちのくGOLD浪漫—黄金の国ジパング、産金はいまりの地をたどる—」は、時代とともに幾重にも結びつき、独自の文化や信仰、産業へと昇華した“金”を中心とするストーリーです。

本企画展は、石巻の視点から2つのテーマを設定し、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」のストーリーや構成文化財をひもとく試みです。石巻をはじめ「みちのくGOLD浪漫」の構成市町は、平泉藤原氏、葛西氏、伊達氏の支配領域に包摂され、現在に至るまで“金”に関する歴史・文化・信仰を積み重ねてきました。1つ目のテーマ「産金」では、「産金のはじまり」である黄金山産金遺跡、平泉藤原氏や葛西氏とともにあった「中世みちのくの黄金文化」、伊達政宗の時代に旧葛西領で進められた「仙台藩の金山経営」、「近代みちのくのゴールドラッシュ」を取り上げます。

そして、もう一つのテーマは「金華山」です。江戸時代以来、“金”を求める人びとの間で金華山詣が流行しました。江戸時代の紀行文や絵画資料から、金華山をめぐる人びとの信仰や文化をひもとく、現在まで続く「みちのくGOLD浪漫」を紹介します。



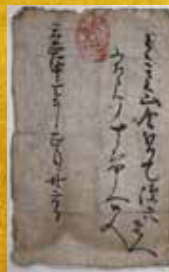
1



2



3



4



5

産金と金華山



8

画像提供：宮城県教育委員会



6



7



9

1:南日詰小路口I・II遺跡出土金付着陶器片(紫波町教育委員会蔵)、2:無量光院跡出土金付着陶器片(平泉文化遺産センター蔵)、3:大籠出土金装板碑(一関市教育委員会蔵)、4:天正二十一年紙製御本判(個人蔵 及川家文書)、5:文禄三年木製御本判(個人蔵 梅津幸次郎コレクション)、6:伊達政宗文書(仙台市博物館蔵 齋藤報恩会寄贈資料) 7:「定留」(個人蔵 吉田家文書)、8:「奥州石ノ巻図」(羽黒山鳥屋神社蔵)、9:「金華山図」(仙台市博物館蔵 伊達家寄贈文化財)

(その他主な展示資料) 黄金山産金遺跡出土遺物(涌谷町教育委員会蔵)、柳の御所遺跡出土遺物(岩手県教育委員会蔵)、水沼窯跡出土遺物(石巻市教育委員会蔵)、田東山経塚出土三筋壺(南三陸町教育委員会蔵、気仙沼市教育委員会蔵)、長塩谷板碑群(館蔵蔵 西晴信黒印状(仙台市博物館蔵、当館蔵)、「気仙本吉御絵図(複製)」(気仙沼市教育委員会蔵)、菅井梅閑筆「金華山図」(仙台市博物館蔵)、「金華山紀行」(仙台市民図書館蔵)、「奥州名所図会 巻之五」(仙台市民図書館蔵)、採金関係資料(涌谷町教育委員会蔵、南三陸町教育委員会蔵、鹿折金山資料館蔵、大谷鉦山資料館蔵、陸前高田市立博物館蔵)など

博物館講座

「学芸員が語る“みちのくの金と金華山”」

日 時：令和7年 3月1日(土) 午後1時～4時
場 所：マルホンまきあーとテラス 小ホール
講 師：当館学芸員 泉田邦彦・伊藤匠・塚本杏奈
定 員：300人(申込不要、先着順、無料)

ワークショップ「砂金採り体験」

日 時：令和7年 2月9日(日)、3月1日(土)、9日(日)
午前10時～12時、午後1時～3時 ※3月1日は午前のみ
場 所：マルホンまきあーとテラス 1F アトリエ
講 師：天平ろまん館
参 加 費：500円(砂金は1粒お持ち帰りいただけます)

企画展関連イベント



〒986-0032 宮城県石巻市開成1-8 TEL 0225-98-4831

【車】三陸自動車道石巻女川ICより約5分